

2011年 4月25日公示

7月6日一部変更

東日本大震災被災地での学生ボランティア活動に関する総合政策学部の指針

総合政策学部の学部学生・大学院生の皆さんへ

去る3月11日に起きた東日本大震災について、多くの学生・大学院生の皆様が被災地でのボランティア活動への参加を希望されていることと思います。その一方で、(1)被災地が混乱しているため、せっかくのボランティア活動が現地の復興の妨げになってしまう危惧、あるいは(2)春学期が始まってしまい、授業とボランティア活動との兼ね合いに躊躇されている方も多いと思います。

総合政策学部では、こうした事態を受けて、以下の方針をさだめました。現地でのボランティア活動を希望される方は、(1)事前に計画書を学部に提出するとともに、(2)ボランティア保険等に加入いただきます。同時に、学部が用意した(3)ボランティア活動に必要な知識の事前研修(E-learning)を受けていただきます。そして、(4)現地での活動後、報告書を提出いただくことを条件に、各講義について~~1回に限り~~学部から担当教員に欠席の取り扱いについて配慮を依頼する措置をとります。

同時に、学部として把握している各種のボランティア活動に関する情報をできる限り、学生・院生の皆さんに公開して、支援活動を促進したいと思います。

1. 手続き等のタイムライン

具体的には、被災地でのボランティア活動に参加される学生・院生の方々は下記の要領でお願いします。

(1) 計画を立てる：後でも触れますが、様々なケースが考えられると思います。事前に十分に調べるか、総合政策学部の教員で構成する「震災支援委員会(室崎教授、長谷川教授、長峯教授、上野教授、小池教授、亀田准教授)」にご相談されるか、あるいは学部HPの「震災支援ブログ(<http://kg-sps.jp/blogs/shinsai-shien/>)」をご参考にして下さい。また、総合政策学部の学生による支援団体「関学三田支援ネット」等にご相談下さい。

(2) 総合政策学部では、室崎教授によるボランティアの事前研修用の講義を、LUNAおよびkg-tvにおいてE-learningの形で公開します。必ず視聴して下さい。また、学部事務室に資料を用意しますので、こちらもご覧いただければと思います。

(3) 必ずボランティア保険に加入して下さい。

(4) 計画が固まりましたら、学部事務室に計画書を提出、認可を受けて下さい(計画書

は総合政策学部のパブリックフォルダからダウンロードできます)。なお、計画書の提出は活動の1週間前までにおこなうことが原則です。

(5) ボランティア活動の後、所定の報告書を提出して下さい。報告書の書式もパブリックフォルダからダウンロードできます。

2. 具体的な被災地ボランティア参加のタイプ

現時点で、総合政策学部の皆さんが被災地ボランティアに参加されるのは、以下のようないくつかケースにわかれると思います。このどれもが対象です。

(1) Aタイプ：皆さんが個人あるいはグループで、独自にボランティア活動に参加するものです。現地までの交通手段等は、個人の活動として確保しなければなりません。例えば、関西学院大学ヒューマン・サービス・センターや兵庫ボランタリープラザ主催のボランティア派遣等、様々な窓口があります。

総合政策学部としては、学外の様々な動きについて「震災支援ブログ」等の媒体で、逐次情報提供いたします。ご関心がある方は、必ず情報をチェックして下さい。

(2) Bタイプ：総合政策学部の学生で「関学三田支援ネット」(長谷川教授指導)を通じて、総合政策学部学生団体のパートナーとなってくれる現地の組織等と連携して、継続的なボランティア活動に参加する計画をたてています。このケースでは、「関学三田支援ネット」はKSCでの募集、事前研修、送り出し、現地の大学等の組織との連絡等、コーディネートをおこないます。

(3) Cタイプ(現在、調整中)：こちらは、教員を中心に、A・Bタイプと少し異なり、一定の地域での継続支援を目指します。そのため、基本的には研究演習のゼミごとの参加を計画しています。

A～Cタイプいずれも、参加される学生の皆さんは、上記1の(1)～(5)のタイムラインで手続きをおこない、事前の研修を受けるようお願いいたします。また、活動後の報告書の提出が義務づけられます。

<参考>

1. ボランティア保険について

都道府県あるいは各市町村の社会福祉協議会(通称、社協)で加入できます。通常のボランティア活動保険の費用は500円で、本人の事故、対人・対物事故・見舞金がセットになっています。

何らかの甚大な災害が発生し「災害ボランティアセンター」が立ち上がった場合は、災害特例型のボランティア活動保険に加入できます。これは被災地での救援・支援のための

ボランティア活動（被災地への往復の行程も含む）への保険で、300円で加入できます。

さらに、この2つを合わせた「天災ボランティア活動保険」に830円で加入できます。この保険では、地震もしくは噴火およびそれらに起因する津波等による本人事故も補償の対象になります。

これらの保険は、いずれも、加入した年の年度末(3月31日)まで有効です。できれば天災ボランティア活動保険に入ることをお勧めします。

なお、グループで加入する場合、団体名・代表者・代表者連絡先、代表者も含むメンバーの氏名・性別・年齢・住所を記載したリストを持参すると、手書きの必要がありません。また、本人もしくは緊急時の連絡先電話番号も必要になります。

なお、長谷川教授がボランティア保険について「震災支援ブログ」に投稿していますので、そちらもご参考にしてください

(<http://kg-sps.jp/blogs/shinsai-shien/2011/04/22/110/>)。また、こちら

(<http://kg-sps.jp/blogs/shinsai-shien/files/2011/04/b2dfa12b742bef630449bd59da662b1a.pdf>) をクリックすると、ボランティア保険の概要がわかります。

さらに詳しくは、各市町村の社会福祉協議会・ボランティアセンターもしくはひょうごボランティアプラザ

(http://www.hyogo-vplaza.jp/enterprise/1_kouryu/kyosai/kyosai.html) にお尋ねください。三田市の場合は、三田市社会福祉協議会

(http://www.sanda-shakyo.or.jp/area/volun_hoken.html) となります。

2. 関学三田支援ネットの連絡先について

関学三田支援ネットからの情報も「震災支援ブログ」等に逐次投稿されますが、支援ネットとコンタクトをとりたい方は、3shien.net@gmail.com にメールを送ってください。

なお、Twitterでも情報発信しておりますので、twitterに加入してから、#3s_net を検索すると情報が見つかります。

3. 成績評価について

- ・ 定期試験を欠席した場合は、追試験の対象外となります。
- ・ 授業中試験については、担当者の判断になりますので、ご自身でご確認ください。
- ・ レポートについては、締切厳守です。それ以降の受付を一切認めておりません。

(欠席期間前の事前提出は可能です。やむを得ない場合に限り代理提出可。)

※ その他、成績評価に関する内容は、各授業担当者にご自身でご確認ください。